

六甲山全山縦走トレーニング Part II

六甲山全山縦走・東半縦コース

とき 2018年3月03日(土)

天候 晴れのち曇り

メンバー 11名(男性:6名 女性:5名)

コース 新神戸駅ー摩耶みはらし展望所ー掬星台ー杣谷峠ー記念碑台ーガーデンテラスー
六甲最高峰ー船坂峠ー譲葉山ー岩倉山ーえんぺい寺休憩所

< コースタイム >

9:00 新神戸駅

9:20 摩耶みはらし展望所

11:40 掬星台
(昼食休憩)

12:40 杣谷峠

13:30 記念碑台

14:00 ガーデンテラス

14:45 六甲山最高峰

15:48 船坂峠

17:10 譲葉山

17:20 岩倉山

17:50 えんぺい寺休憩所

< 活動記録 >

3月11日(日)に開催される兵庫労山主催の六甲全山縦走大会の東半縦コースを「六甲山全山縦走トレーニング Part II」として歩く。新神戸駅高架下を9:00に出発し、途中、準備運動やトイレ休憩を行いながら、六甲全山縦走路に合流を目指す。合流後、掬星台へ向かう。じわじわと足に負担がかかり始める。掬星台に到着したのが11:40。昼食には少し早い、ここで昼食休憩を30分とる。本番当日は早いスタート時間ということもあり、ガーデンテラスあたりまで行き、昼食をとることになるだろう。掬星台の先で、1名が都合で下山したが、残り10名は山道、車道を歩きながら記念碑台、ガーデンテラスへ。「極力山道を歩きたいが、大会当日はまずは完歩を目指し、車道を有効利用するだろうなあ。」と思いながら歩を進める。本当に歩けるのだろうか。ガーデンテラス辺りまで来るといつもは下山する距離だ。下山したいという言葉が頭をよぎる。半縦走だけど、大げさになるけど、本番は自分との闘いとなるだろう。ゴールだけを見つめて歩かねばと完歩できない。

ようやく六甲最高峰に到着。黒く塗りつぶされた鎮魂の木柱がそこにはある。怒りを通り超えて、悲しさのみ感じる。何のためにこのようなことをするのだろうか。

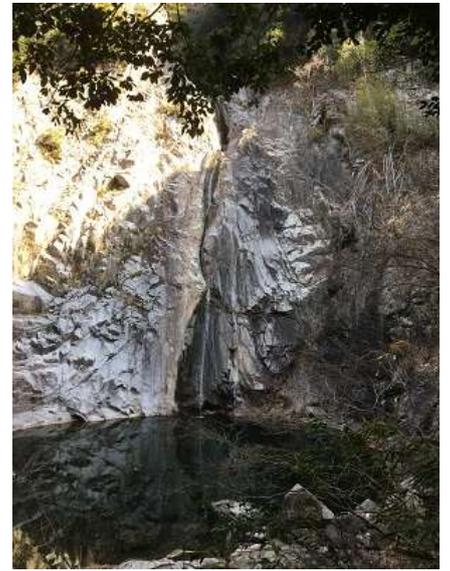
六甲最高峰まで来れば、あとは下り中心の3時間。先頭のお二人が速い。非常に元気で、後続者は小走りになる場面も多々有り。一気に足の筋肉がパンパンに張る。当日はペース配分に注意せねば、足への負担も大きくなるだけ。なんとかゴール時限の18:00前にゴールであるえんぺい寺休憩所に到着。マイペースで何が何でも本番も完歩することを誓った山行であった。



1. 東半縦走コースのスタート地点。新神戸駅高架下。



2. スタート直後の面々



3. こんな水量の少ない布引の滝も珍しいなあ。



4. 布引の滝を横目に皆さん先をどんどん進みます。



5. 布引みはらし展望所では梅の花が咲いてました。



6. 布引みはらし展望所で、リーダー挨拶と準備運動を行う。



7. 五本松堰堤に到着するも貯水池の水も少なし。



8. ここから六甲全山縦走路に合流します。



9. 天狗道を歩く。



10. 掬星台に到着。こちらで30分の休憩取得。



11. 日陰だと少し寒かったあ。



12. 摩耶別山に向かう。



13. アゴニー坂を下ります。



14. 三国池方面に上るのが縦走路。今回は車道を(^▽^)/



15. みよし観音像までは車道を歩く。



16. 記念碑台にある六甲山ガイドハウスに到着。



17. 六甲ゴルフ倶楽部の中を行く。



18. みよし観音像に到着だ。ここからまた山道。



19. ガーデンテラスはいつもより人が少なめ。



20. 本日より一番の眺望だったかなあ。



21. なぜこんなことをするのだろうか。悲しいねえ。。



22. ん？ これで全員？ 違いますよ～～～お



23. 後は下り中心の山行。でも先頭の二人は既にはいない。



24. ゆずり葉台への分岐まで戻ってきました。



25. その分岐で本日最後の休憩を取得。



26. 塩尾寺に到着。



27. ゴールだあ～





距離 時間 日時

🕒 活動時間	9時間24分
📏 活動距離	24.90km
↕ 高低差	883m
↗ 累積標高上り/下り	1,691m / 1,744m

スタート	08:53
↓	2時間42分
摩耶山	11:35 - 11:38 (3分)
↓	43分
摩耶別山	12:21 - 12:25 (4分)
↓	3時間22分
船坂峠	15:47 - 15:48 (1分)
↓	1時間21分
譲葉山	17:09 - 17:11 (2分)
↓	10分
岩倉山	17:21 - 17:24 (3分)
↓	53分
ゴール	18:17